

「安倍川橋」橋名板の行方

安倍川橋に掲げられた橋名額には、長い間「安倍川橋」の文字がありません。腐ってなくなってしまったのかと思ったら、実はそうではないみたい…。



大正12年 建設当時

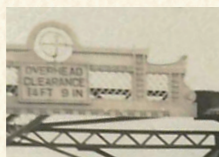
洒落た橋名額には切り文字で「安倍川橋」の表示。このたび建設100年を記念して、復元しました。



写真提供：山梨写真館

昭和20年代 太平洋戦争後

「OVERHEAD CLEARANCE 14FT 9IN(=約4.5m)」は、通行車両の高さ制限を示しています。戦後、GHQ統治下に英語表記に変更されたのか…?



昭和30年代 戦後復興期

裏側から見た写真なので、何が書いてあるかはわかりませんが、四角の板が4枚あります。「安倍川橋」と入っていたのか…?



写真提供：山梨写真館

橋名板の行方について、全容解明には至っていません。引き続き有力な情報をお待ちしています！

アクセス | 散策の際は路線バスをご利用ください。



しずてつジャストライン (所要時間 約15分)

丸子線・中部国道線・丸子小坂線
牧ヶ谷線・東新田下川原線

静岡駅前

安倍川橋

【お問合せ】静岡市 建設局 道路部 道路計画課
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 Tel.054-221-1239

協力：静岡市立田町小学校/静岡市立駒形小学校 デザイン：株式会社すーらいふ 発行：令和5年3月
安倍川橋建設100周年記念事業寄附協力：三井住友建設株式会社、ドービー建設工業株式会社

安倍川橋のヒミツ

鉄骨のおしゃれな形に 隠された魅力

歩道から橋を見上げると、橋を安定させるために、いろいろな方向と繋がっている鉄骨を見ることができます。たくさんの鉄骨を使った姿はおしゃれです。実はこの鉄骨たちには当時の歴史的背景と、強さの秘密が隠されています。

イギリス生まれの鉄骨

安倍川橋の鉄骨にはイギリス鋼材メーカーの刻印が刻まれています。1923年当時、日本では鉄鋼の製造が安定しておらず、鋼材を外国から輸入していました。国産の鉄鋼が普及するまでの過渡期に建設されたことがわかります。



DORMAN LONGの刻印

ボーストリングトラス橋

安倍川橋はいろいろなところでトラスという構造が使われています。トラス構造とは三角形を組み合わせて構成する構造形式のことで、少ない部材で強い力を発揮できるというメリットがあります。安倍川橋の構造形式はボーストリングトラス(弓:bow, 弦:string)と呼ばれ、弓なりの放物線を描いています。橋長、径間の数では日本最大級の現役のボーストリングトラス橋です。

「2代目安水橋」の板で作られた 大黒様・恵比寿様

現在の安倍川橋が架かる前には「安水橋」と呼ばれる橋がありました。この大黒様と恵比寿様の木彫りの人形は、安倍川橋が完成して解体された2代目安水橋の板から作られたと記載されています。安倍川橋建設に携わった方のお孫さんが大切に保管してくれていました。このたび、100年以上の時を経て発見されました。神様の姿に変えて残っていたことから、当時の人にとって大切な橋であったことが伝わってきます。



1.2.(左)恵比寿様(右)大黒様(所有:池ヶ谷恵美氏)
3.2代目安水橋

田町小学校・駒形小学校の子どもたちが一生懸命調べてくれました

「安倍川プライドの育成」を掲げ、小中一貫教育を進める両校では「安倍川地区に生まれ、育って良かった」と感じられる教育を実践しています。安倍川橋や地域の資源について、子どもたちが調べた情報をマップの素材として使わせてもらいました。裏面マップのQRコードから、子どもたちがまとめたスライドや活動の様子をそのまま見ることができます。

田町小学校



3・6年生

安倍川学区の歴史について

安倍川橋や花火など、安倍川にゆかりのあるテーマについて調べてまとめました。



かごやで安倍川もちの勉強をしました

駒形小学校 3年生

駒形通商店街の探索



果物屋さんで商品の調査



お店の人にインタビュー

子どもたちの感想

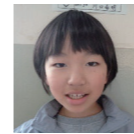
田町小学校
3年生
うちの あこ
内野 愛心さん



田町学区には、何年も人の役に立っている物があります。わたしは、「くすの木」の学習で、昔の田町小学校について調べました。田町小学校を作った人が今の田町小学校のことを知ると、うれしくなと思います。わたしも今、田町小学校に通っていて楽しいことやうれしいことがたくさんあります。作ってくれた人や作ろうと思ってくれた人、前の先生方に感謝したいです。これからも、田町小学校だけでなく、公園や安倍川橋、安倍川橋近くのお店などがこれからも残り続け、みんなの役に立ってくれたらうれしいです。

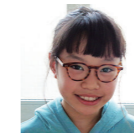
※くすの木=田町小学校の総合的な学習の時間

田町小学校
3年生
まつだ みはる
松田 美陽さん



ずっと昔には、田町に田町小学校も安倍川花火もありませんでした。昔の人がいろいろ考えてくれたから、今の田町小学校も、安倍川花火もできたと思います。昔の人に「ありがとう。」と思いながら、これからも一生けん命「くすの木」の勉強をしていきたいです。これからは、まだ自分の知らないものがあるし、これからは新しいものができるかもしれないから、「くすの木」でいろいろな勉強をしていきたいです。

駒形小学校
3年生
なかにし
中西 ひかるさん



パンフレットを作った理由は、駒形商店街のいいところをいろいろな人に教えたかったからです。がんばったことは、写真はどれにしたらわかりやすいのかを考えて選んだところです。また、合う色はどれにしようか考えることが大変でした。最後に、このパンフレットのじまんは、おすすめの商品のことを詳しく、わかりやすくしたことです。



地元小学生がおすすめする /

安倍川橋 散策マップ

= ひがし編 =

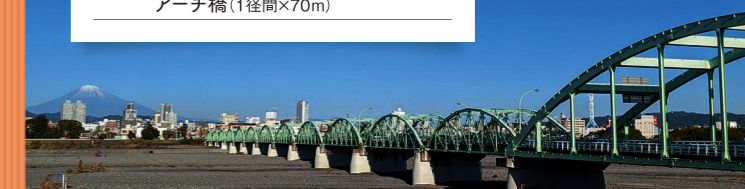
2023年に建設から100年を迎えた安倍川橋。
東海に架かる橋とその周辺には魅力が盛りだくさん！
このマップを持って散策に出掛けてみませんか。



右上・左上・右下/田町小学校2・3・5・6年生の花火をイメージした作品
左下/駒形小学校4年生の安倍川を飾る竹灯りの作品

PROFILE

名前	安倍川橋(別名 弥勢橋)		
誕生日	1923年7月23日		
長さ	490.91m	材質	鋼橋
形式	ボーストリングトラス橋(12径間×35m) アーチ橋(1径間×70m)		





安倍川橋の西側周辺
散策マップに続く

安倍川橋の東側周辺 散策マップ

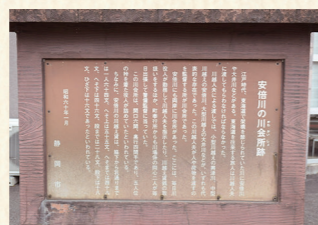
00の項目と安倍川橋については、
田町小学校・駒形小学校の子どもたちが
詳しく調べた資料が見られます。QRからご覧ください！
資料はこちら



01 田町公園
2012年にリニューアルオープン。大型の複合遊具と広い芝生公園、グラウンドが整備され、災害時には一時避難地として活躍します。夏季に無料開放される屋外プールは多くの子どもたちに賑わいます。



02 神明宮
室町時代1490年創立。主神として、天照皇大神、豊受皇大神をお祭りしています。戦災で多くの社宝が焼失しましたが、本殿に納めている棟札と境内手水舎にある冠石と称する名石が現存しています。



03 川会所跡
江戸時代、東海道で架橋が禁じられていた川には安倍川や大井川があり、川越人夫に渡してもらった必要がありました。川会所には川役人が勤務し、川越賃金の取扱いや川越人夫に指示をしていました。



04 水制(水ばね)
洪水時に堤防を直撃する流水で堤防が洗掘されることを防止するため、明治時代以前から設置されています。今も安倍川には多くの水制(水ばね)が残っています。



05 与九郎稲荷(南安倍八幡神社)
薩摩土手完成により川の流が変わり、更に対岸の向敷地に水制を造ったことで長雨の際に土手が崩れ、安倍川村の新田が水没。百姓頭と与九郎は被害を防ぐため同志と計り、夜陰に乗じて水制を破壊しました。与九郎は責任を問われ捕吏に斬殺。村民がそれを悼み稲荷として祭りました。



06 宮崎総五頌徳碑
1828年に弥勒で生まれ育った宮崎総五氏の偉業と功績を称えるために大正13年に建立された碑です。私財を投じての初代安水橋架橋、仕事をなくした川越人夫を雇用し、宇津ノ谷にトンネルを開くなど社会事業を行いました。帝国議会初代貴族委員議員。



07 安倍川の義夫の碑
この碑は、財布をなくした旅人を助けた正直者の川越人夫の喜兵衛を称えるため、昭和4年に和歌山県や静岡県の学童や有志により建てられました。碑文は「難に臨まずんば忠臣の志を知らず。財(たから)に臨まずんば義士の心を知らず」



08 曹洞宗 浄元寺
1604年開山。徳川家康は駿府在城の頃、狩りに出かけた際、藤枝の盤脚院にて休息し、天越和尚の禪話を聞き、囲碁を楽しむうちに帰依するようになりました。駿府城に和尚を招待する際、往来に悩むのを見て一里塚の地に境内を賜り、和尚の隠居所としたのが始まります。



09 安倍川花火
東海地方でも有数の規模の花火大会で、安倍川沿いの河川敷で毎年約15,000発の花火が打ち上げられます。戦後の復興へ歩み始めた昭和20年代後半、静岡大空襲で犠牲になった人々の慰霊を目的に、田町学区の元静岡市議で青年団長の杉山伊三雄らによって始まりました。



10 安倍川もち
東海道府中宿の名物で、本来はつぎたての餅にきな粉をまぶし、その上から白砂糖をかけたものです。徳川家康が安倍川上流の梅ヶ島・笹山などの金山に視察に行った際、茶屋の主人が砂金に見立てたきな粉をまぶした餅を献上しました。家康はたいそう気に入り、その餅に「安倍川もち」と名付けたという逸話があります。



11 駒形通商店街
昭和の雰囲気が残る活気ある商店街で、トリコロールカラーのアーケードが目印。魚屋、八百屋、米屋、酒屋、日用品、衣料品などの魅力的なお店が軒を連ね、ここに来れば何でもそろう「静岡の台所」として、長年に渡り地域に親しまれています。今は珍しくなった銭湯、「桜湯」では昭和レトロを満喫することができます。



12 溺死剣難者慰霊碑
歩いて渡るしか許されなかった安倍川では溺死する人が多く、河原では駿府の重罪人の処刑も行われました。これらの人々の慰霊のための塔を1831年に再建。日蓮上人の花押入の題目が刻まれています。

13 関東震災横死者供養塔
1923年の関東大震災の犠牲者のための慰霊碑。指物職人の小田万蔵氏は東京での修業時代に世話になった方達が横死したことを悼み、供養塔の建立のため資金集めに奔走。3回忌に当たる9月1日、安倍川堤防に建立。

14 安倍川架橋の碑
誰もが安心して安倍川を渡れるようにと宮崎総五氏が社会事業として多額の私財を投じて明治7年に建設した安水橋。その架橋の顛末をここに記し、後世の人に伝えるために明治41年に建てられました。

15 水神社
神社の創建は正保年中(1644~1647年)。弥勒に人が住み、旅人相手の茶店を出すようになってから30数年後、町奉行から認められて弥勒が町になった頃に創建されました。守護神は水の神様「瀬織津姫命」を祭り、安倍川での人々の無難と共に町の繁栄と安全を念じ、町の守り神として現在に至ります。



16 薩摩土手
徳川家康が薩摩藩の島津忠恒に命じて、駿府城や駿府の町を安倍川の洪水から守るために築かせた堤防と伝えられています。駿府城を敵に奪われた時には土手を切り崩して水攻めにする目的もあったとの説もあります。現在この土手が残るのは、井宮町妙見下の約700mの区間だけで「薩摩土手之碑」が建てられています。



両校は安倍川中学校とともに、令和4年度から静岡型小中一貫教育をスタートしました。

17 田町小学校
昭和2年静岡市立田町尋常小学校として開校しました。

18 駒形小学校
昭和24年静岡市立駒形小学校として開校しました。

